【東野圭吾106作品リスト】

		加賀恭一郎（12作）	ガリレオ（11作）	マスカレード（5作）	笑小説（4作）	雪山（4作）	その他のシリーズ（13作）	シリーズ以外（43作）			短編集（9作）	エッセイ（5作）
1985	27歳							放課後　第31回江戸川乱歩賞・デビュー作				
1986		卒業 - 雪月花殺人ゲーム						白馬山荘殺人事件				
1987								学生街の殺人	11文字の殺人			
1988	30歳						浪花少年探偵団	魔球	香子の夢 - コンパニオン殺人事件 →「ウィンクで乾杯」へ改題			
1989		眠りの森						十字屋敷のピエロ	鳥人計画	ブルータスの心臓	殺人現場は雲の上	
1990								宿命	仮面山荘殺人事件		依頼人の娘 →「探偵倶楽部」へ改題 犯人のいない殺人の夜	
1991								変身	回廊亭の殺人 →「回廊亭殺人事件」へ改題			
1992								ある閉ざされた雪の山荘で	美しき凶器		交通警察の夜 →「天使の耳」へ改題	
1993							浪花少年探偵団 2 →「しのぶセンセにサヨナラ」へ改題	同級生	分身			
1994								むかし僕が死んだ家	虹を操る少年		怪しい人びと	
1995					怪笑小説			パラレルワールド・ラブストーリー	天空の蜂			あの頃ぼくらはアホでした
1996		どちらかが彼女を殺した			毒笑小説		名探偵の掟（天下一大五郎1）					
		悪意					名探偵の呪縛（天下一大五郎2）					
1998	40歳		探偵ガリレオ					秘密　第52回日本推理作家協会賞				
1999		私が彼を殺した						白夜行				
2000		嘘をもうひとつだけ	予知夢 									
2001								片想い			超・殺人事件 - 推理作家の苦悩	
2002								レイクサイド	トキオ→「時生」へ改題	ゲームの名は誘拐		
2003								手紙	殺人の門		おれは非情勤	
2004								幻夜	さまよう刃			ちゃれんじ？
2005			容疑者Xの献身　第134回直木賞		黒笑小説							さいえんす？
2006		赤い指						使命と魂のリミット				夢はトリノをかけめぐる
2007								夜明けの街で	ダイイング・アイ			たぶん最後の御挨拶
2008	50歳		ガリレオの苦悩					流星の絆				
			聖女の救済									
2009		新参者						パラドックス１３				
2010						白銀ジャック		カッコウの卵は誰のもの	プラチナデータ			
2011		麒麟の翼	真夏の方程式	マスカレード・ホテル							あの頃の誰か	
2012			虚像の道化師		歪笑小説			ナミヤ雑貨店の奇蹟　第7回中央公論学賞				
			禁断の魔術									
2013		祈りの幕が下りる時				疾風ロンド		夢幻花　第26回柴田錬三郎賞				
2014		 第48回吉川英治文学賞		マスカレード・イブ				虚ろな十字架				
2015								人魚の眠る家				
2016						恋のゴンドラ	ラプラスの魔女（ラプラス1） 作家デビュー30周年記念作品	危険なビーナス				
						雪煙チェイス						
2017				マスカレード・ナイト							素敵な日本人	
2018	60歳		沈黙のパレード				魔力の胎動（ラプラス2）					
2019		希望の糸										
2020							クスノキの番人（クスノキ1）					
							ブラック・ショーマンと 名もなき町の殺人（ショーマン1）					
2021			透明な螺旋				白鳥とコウモリ（五代務1）　作家生活35周年記念作品					
2022				マスカレード・ゲーム								
2023		あなたが誰かを殺した					魔女と過ごした七日間（ラプラス3）　著作100作目					
2024							ブラック・ショーマンと 覚醒する女たち（ショーマン2）					
							クスノキの女神（クスノキ2）					
							架空犯（五代務2）					
2025				マスカレード・ライフ								
2026	68歳		永遠の記憶									

＜東野圭吾氏 プロフィール＞

- ■ 1958年　大阪府に生まれる
- ■ 1985年『放課後』で第31回江戸川乱歩賞を受賞しデビュー
- ■ 1999年『秘密』で第52回日本推理作家協会賞
- ■ 2006年『容疑者Xの献身』で第134回直木賞、
- ■ 2012年『ナミヤ雑貨店の奇蹟』で第7回中央公論文芸賞
- ■ 2013年『夢幻花』で第26回柴田錬三郎賞、
- ■ 2014年『祈りの幕が下りる時』で第48回吉川英治文学賞
- ■ 2019年　第1回野間出版文化賞
- ■ 2023年　第71回菊池寛賞
- ■ 2024年　第28回日本ミステリー文学大賞を受賞
  長年にわたり多彩な作品を発表してきた功績により、紫綬褒章を受章

「ガリレオ」シリーズや「加賀恭一郎」シリーズなど数多くの作品が映像化され、
その著作数は106冊（共著除く）、国内での発行部数は1億900万部を記録している。
海外では41の国と地域で翻訳され、日本を代表するミステリ作家である。